

# シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
地 歴	世界史探究	4	2	文系GA	1・2・3・4

教科書	山川出版社『詳説世界史』(世探704)	副教材	最新世界史図説『タペストリー』(帝国書院)

科目の目標	<p>世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を身につける。また、文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を培う。現代社会を取り巻く国際情勢や国際問題に関し、歴史的観点から考察することで、偏見によらない幅広い視野と認識力を養う。</p>
-------	--

科目の概要	<p>私たちが生きるこの世界では、様々な出来事がおこり、多くの問題や課題が生まれている。これらの出来事や諸問題が、なぜ起こったのか、あるいは起こるのか、ということを考察するためには、世界の歴史を多角的に捉え、因果関係を理解することが重要である。世界史は、歴史を単なる過去と捉えず、未来を生み出す、建設的な科目である。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。また、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	捉えた事実に即して課題を発見し、その課題を解決するためにどのような取り組みが必要となるのか考える力を高める。また、課題や解決方法について他者の意見や論理について触れることで、より妥当な知恵を見出し、それらを適切に言語化する力を身につける。	授業の内外で、歴史に対して興味や関心を深め、積極的に学習する力を高める。歴史的思考力を大事にして、現在の社会のありようを捉え、自分が社会のなかで何ができるかを考え、よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につける。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第1部 第1章 文明の成立と古代文明の特質 1. 文明の誕生 2. 古代オリエント文明とその周辺 3. 南アジアの古代文明 4. 中国の古代文明 5. 南北アメリカ文明 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 2. 秦・漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	農耕と牧畜の開始により人類の生活様式が劇的に変化したことを理解する。 各古代文明がその地域の自然環境と関連して発生したことを理解する。 秦漢帝国や匈奴帝国はどのようにして生まれ、どのような性格を持っていたのかを多面的・多角的に理解する。
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文明とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1. イラン諸国家の興亡とイラン文明 2. ギリシア人の都市国家 3. ローマと地中海支配 4. キリスト教の成立と発展 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	南アジアの諸宗教の特徴について理解する。 南アジアの国家や社会の特徴について理解する。 東南アジア地域における国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかを理解する。 アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点を理解する。 アテネの民主政と現代の民主政の違いを理解する。 ローマがなぜ共和政から訂正に移行したのについて理解する。キリスト教の広がりが後の世界に与えた影響を理解する。
2 学 期	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 第2部 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1. イスラーム教の諸地域への伝播 2. 西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1. 西ヨーロッパの封建社会 2. 東ヨーロッパ世界の展開 3. 西ヨーロッパ世界の変容 4. 西ヨーロッパの中世文化 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	イスラーム教とはどのような特徴をもった宗教なのかどのように広まったのかを他の宗教と比較して理解する。 東西ヨーロッパ世界の成立の背景を理解する。 アジア・アフリカの広大な地域が、イスラーム文明圏としてまとまっていた理由を理解する。 西ヨーロッパの封建社会はどのようにして成立し、東ヨーロッパ世界との相違を明確にしていくのかを理解する。
	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 第9章 大交易・大交流の時代 1. アジア交易世界の興隆 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	10世紀の東アジア諸国の大変動はどのようにして起こったのかを理解する。 モンゴルの支配は、中国や朝鮮・日本の社会にどのような変化をもたらしたかを理解する。 イスラームはインド社会にどのように広がり、どのような影響を与えたかを理解する。 大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時期に大きく変化したのかを理解する。
3 学 期	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	ルネサンスはどのような社会的背景をもち、どのような影響を後世に与えたかを理解する。 近世の主権国家はどのような特徴をもっていたのか、また、国家の形成と宗教にはどのような関わりがあったのかを理解する。 オランダの繁栄と英仏の国家建設の関係、三十年戦争がヨーロッパとドイツに与えた影響について理解する。